

令和2年 成人式

1月12日、えずこホールで令和2年成人式が挙行されました。この式典では、新成人が大人としての一步を踏み出し、これからの社会を築き背負っていく節目の日であることを出席者全員で確認します。その決意を、代表のかた2名が「二十歳に思う」として発表しました。

積極的に挑戦



山田 脩人さん
(金ヶ瀬6区)

私は現在、大学に籍を置き、現代社会の構造を理解し、社会人基礎力を養うために、東北、日本、そして国際社会の三領域を専門的に学んでいます。

今年の夏、授業の一環で海外に行く機会があり、私は短期留学で韓国を訪れました。近年、日韓の問題が深刻化しているため、韓国に渡る直前まで、楽しみな気持ちと不安な気持ちが入り交ざっていました。しかし、実際に現地を訪れてみると、普段日本で行われている反日のメディアの報道とは大きく異なり、人情味に溢れていることを肌で実感することができました。

本日、私たちが成人としての第一歩を踏み出すにあたり、このような盛大な式典を催していただき、誠にありがとうございます。また、ご来賓の皆様には、ご多忙のところご臨席を賜るとともに、皆様からのお祝いや激励の言葉をいただき、新成人を代表して、厚く御礼申し上げます。私たちがこの日を迎えることができ、生きる喜びと幸せを感じることができるのは、これまで育ててくれた家族や、苦楽を共に歩んできた友達、そして私たちの成長を温かく見守ってくださった地域の方々のおかげです。

私は韓国の大学生と交流をした中で、特に印象に残っていることは、日本人は消極的、韓国人は積極的な傾向にあるということです。日本人は、断定を好まず、控えめな性格であるため、初対面の人と仲良くするためにには言いたいことを我慢すること、必要と考える人も多いと思います。しかし、その一方で韓国人は、初対面の人にも親切でフレンド

リーであり、物事をはっきり相手に伝えることで、友好関係を作り上げるといふ、共通認識があると感じました。韓国人のように自分の意見を明瞭に相手に伝えることができる積極性は、今後社会人になる自分自身にとって学ばべきものであり、養うべき力であると思います。同時に、自分の環境を一度あえて変えてみることは、価値観を見直す良い機会となり、何事も挑戦することが大切であると学びました。

私たち新成人は、成人式という人生の節目、そして大人としての門出を無事に迎えることができました。学生として勉強をしている人もいれば、すでに社会に出て働いている人、将来について模索している人もいます。平成から令和へと元号が変わり、甚大な台風被害や、東京オリンピックが開催されるなど、環境の変化が著しい状況に私たちは置かれています。その一方で、人生の門出を迎えた今、一社会人としての自覚と責任を持ち、大人として認められるように、自分を磨き精

進していきたいと思っています。最後になりましたが、本日お集りいただきました皆様の一層のご健勝と、大河原町の限らない発展をお祈り申し上げ、新成人代表の挨拶とさせていただきます。本日は誠にありがとうございました。



▲準備を重ねてきた実行委員の皆さん。
当日も司会進行や受付など、自分たちで成人式を盛り上げました。

自分の信じる道を一步一步



細野 詩さん
(桜町3区)

本日は成人を迎えた私たちの門出に対し、このような盛大な素晴らしい式典を開催していただき、誠にありがとうございます。また、ご来賓の方々には、ご多忙のところご臨席を賜るとともに、皆様からのお祝いや激励の言葉をいただき、新成人一同厚く御礼申し上げます。

私たちは、この自然豊かな大河原町に生まれ、小・中・高とともに切磋琢磨し合った仲間と、人生の大きな節目を無事に迎えていることを心から嬉しく思います。これも、今まで私たちにたくさんの方の愛情を注ぎ育ててくれた家族や、熱心に指導いただきました先生方、地域の皆様の温かい支えのおかげだと感謝しております。

さて、「好奇心はいつだって新しい道を教えてくれる」これはウォルト・ディズニーの言葉です。人が好奇心を持つことをやめた時、自分自身の成長や社会の発展は止まってしまうことでしょう。昨年、時代は平成から令和へと変化しました。

今年は東京オリンピックやパリンピックが開催されるなど、現在の日本は本格的な激動の時代であり、転換期を迎えています。また、社会の変化は激しく、先行き不透明だとも言われています。時代の区切りにより人生の節目の時を迎えた私たち、社会の変化に流されることなく、好奇心を持ち続けること。そして、新しいことに挑戦し、新たな価値を創造していくことで社会は大きく発展していくでしょう。自分自身にできることはそれぞれ異なっていますが、よりよい宮城、日本、世界へと変えていきたいという共通の想いを持ち、取り組んでいくことで、私たちがこれまで育んできた社会への恩返しに繋がるのではないのでしょうか。

私は将来、海外の教育制度を学び、日本の教育に取り入れることでさらに充実した教育制度を創設したいと考えています。現在は、大学の授業で教育の在り方について学んだり、日本の教育の強みと問題点は何かを熟考しています。昨年、大学の授業の一環で、イギリスに一ヶ月間留学する機会がありました。留学を通して、コミュニケーションをとる際に言語の壁はさほどないということ。言語よりも大事なことは、笑顔、元氣、話したいという意思であることを実感しました。この経験を活かして、在学中は海外へボランティアに行き、現地の教育について積極的に学ぶことや、ホームステイを通して海外の

文化に直接触れること、語学学校へ行く英語力の向上を図ることなど、学生だからできる経験をしていこうと考えています。将来を見据え、自分の信じる道を一步一步確実に歩んでいきたいです。

最後になりましたが、門出を迎えた今、多くの人への感謝の気持ちをもち、成人としての決意を忘れず常に前向きに歩んでいくことを誓います。どうか今後とも、温かい目でご指導ご鞭撻をいただきますようお願い申し上げます。

そして、本日お集まりいただきました皆様の一層のご健勝と、大河原町の限らない発展をお祈り申し上げ、新成人代表の挨拶とさせていただきます。本日は誠にありがとうございました。



今年大河原町の成人式に参加された新成人は、町外から出席されたかたも含めて171名(男性85名/女性86名)。久しぶりの再会を喜ぶとともに、成人としての自覚と、将来への決意を新たにしていました。